

池田エライザ

Profile

いけだえらいざ●1996年4月16日生まれ、福岡県出身。09年にモデルとして芸能活動を開始。11年に映画「高校デビュー」に出演して女優活動にも進出し、17年「一礼して、キス」で映画初主演。近作にドラマ「ルームロンダリング」(18年TBS系)、「二つの祖国」(19年テレビ東京系)、「映画 賭ケグルイ」(19年)など。ファースト写真集が5/31(金)に発売。

撮影=諸井純二(Rooster) / 取材・文=大西淳子 / ヘアメイク=豊田千恵
スタイリスト=福田春美(pinko) / 編集協力=千葉由知(ribeo visualworks)

SA・PA&ドライバー問一答

Q. SA・PAで気になるおみやげ

A. 「地方の有名なお茶漬けとか、珍しいものを撮影現場の差し入れ用に探したいです」

Q. SA・PAをプロデュースするなら

A. 「地元の人が考案したメニューのフェス。家でも再現できるように食材も販売したいな」

Q. 普通免許の取得プランは?

A. 「今すぐにでも取りたいですけど、なかなか時間が…。でも30歳までには取りたいです」

©2019「貞子」製作委員会



「貞子」

5/24(金)公開

STORY

怨霊・貞子の呪いの連鎖を描くシリーズ最新作。病院の心理カウンセラー・茉優(池田)は、警察に保護された記憶のない少女を担当するが、やがて少女の周りで奇妙な現象が起り始める。一方、茉優の弟で動画クリエイターの和真(清水)は、死者が出た火事跡に忍び込んで心霊動画を撮影するが、直後に行方不明に。和真をサポートしていた石田(塚本)から連絡を受けた茉優は、和真が投稿した動画を再生し、ある影が映っていることに気付く。

STAFF & CAST

監 鈴木光司「タイド」(角川ホラー文庫刊) 脚 杉原憲明
監 中田秀夫 池田エライザ、塚本高史、清水尋也、桐山漣、ともさかりえ、佐藤仁美ほか

おいしいものがいっぱい
のSAで
友達とパーティ
したいです



最

近、友人と「旅に行く時間はないけど、SAには行きたいね」と話していたという池田エライザさん。「SAはご当地名物が手軽に何種類も楽しめるから、そこでパーティしたい(笑)。井ものが好きなので、数種類の丼をシェアして、帰りにメロパンとか買って車内で食べたいですね。でも、私も友達もまだ普通免許を持っていないくて。早く免許を取って、いろんなSAのグルメ巡りしてみたいです」

季節はもうすぐ夏。ドライブするならどこに行きたい? 「北海道に行ったことがないので、夏の北海道の海辺で読書をしたいです。それから旭山動物園で白クマを

見たり、小樽で海鮮丼を食べたり…。アスレチックにも行ってみたかったんですが、北海道ならそれもありません。やりたいたいことが全部できそうですよね!」

涼しい北海道での夏旅プランを練る池田さんだが、「リング」シリーズ最新作の主演映画「貞子」も、涼をとるには最適のホラー映画。池田さん演じる心理カウンセラーの秋川菜優は、心霊動画を撮影した直後に行方不明になった弟・和真(清水尋也)を捜すため、怨霊・貞子の呪いと対峙していく。

「私にも弟がいるだけに、弟が行方不明だと想像すると絶望的な気持ちになって、撮影中はずっと追い込まれているような感覚でした。恐怖するシーンでは監督にも『もっともっと』と求められたので、食らいつこうと集中して、目つきが変になっていましたね(苦笑)」

タイトル通り、今回は貞子の生い立ちにもスポットを当て、物語性を高めた作品に仕上げられた。

「貞子の過去や茉優と和真の絆など怖さの中にも人間ドラマがしっかりと描かれた、素晴らしい脚本本だと思いました。今回は身近な動画サイトから呪いが広がっていくので、誰もがリアルな恐怖を味わえる映画になったと思います」